

## 28年6月分 木材チップの荷動き・価格先行き動向調査 1

1. 調査実施期間 平成28年6月1日～ 28年6月10日

## 2. 調査実施方法

全国の木材チップ工場に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。  
6月分の回答企業数は10社である。

## 3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={(「増加」の評価を行った回答の割合)×2+(「やや増加」の評価を行った回答の割合)-(「減少」の評価を行った回答の割合)×2-(「やや減少」の評価を行った回答の割合)}÷2  
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

## 4. 調査結果の概要

## (1) チップ用国産原木の荷動き動向 Weight. D. I.

品目		28/6月	7月	8月
入荷動向	スギ・ヒノキ	△ 22.2	△ 31.3	△ 6.3
	マツ	△ 30.0	△ 40.0	△ 30.0
	広葉樹	△ 15.0	△ 16.7	△ 5.6
消費動向	スギ・ヒノキ	△ 14.3	△ 28.6	△ 21.4
	マツ	△ 42.9	△ 50.0	△ 42.9
	広葉樹	△ 12.5	△ 12.5	△ 12.5
在庫動向	スギ・ヒノキ	△ 25.0	△ 25.0	△ 18.8
	マツ	△ 22.2	△ 38.9	△ 44.4
	広葉樹	△ 11.1	△ 16.7	△ 11.1

・チップ用国産原木の入荷、消費及び在庫は、3ヵ月連続して減少。

## (2) チップ用国産原木購入価格動向 Weight. D. I.

品目	28/6月	7月	8月
スギ・ヒノキ	0.0	0.0	0.0
マツ類	0.0	0.0	0.0
広葉樹	0.0	0.0	0.0

・チップ用国産原木の購入価格は、3ヵ月連続して横ばい。

## モニターからのコメント

## (原木荷動き)

・スギは季節的要因で仕入れは減少気味、再生事業が進まず。マツは再生事業で入荷増加。広葉樹は天候安定で入荷増。マツは在庫増加（東北）。  
・6月は製紙会社の定期修理で、受け入れ制限が発生（中部）。  
・仕入れ荷動き良好。消費・在庫は変動なし（中国）。  
・梅雨に入り作業休止で仕入れやや減少。翌月・翌々月は横ばい。消費は横ばい。在庫は当月やや減少、翌月・翌々月は横ばい（高知）。  
・5月は順調に入荷と思われたが、熊本震災で入荷はやや少なめ。今月は梅雨入りでやや少なめ。7月下旬からは増える。5月は製紙・発電共に点検で生産減少。今月はフル稼働、来月・再来月もこのまま生産。在庫は少しずつ減少（九州）。

## (原木価格)

・変動なし（高知）。  
・しばらくは変化なし（九州）。  
・

## 28年6月分 木材チップの荷動き・価格先行き動向調査 2

## 4. 調査結果の概要

## (1) 木材チップの荷動き動向 Weight. D. I.

品目		28/6月	7月	8月
生産 動向	スギ・ヒノキ	△ 12.5	△ 25.0	△ 12.5
	マツ類	△ 38.9	△ 44.4	△ 38.9
	広葉樹	△ 16.7	△ 16.7	△ 22.2
出荷 動向	スギ・ヒノキ	△ 25.0	△ 25.0	△ 12.5
	マツ類	△ 27.8	△ 33.3	△ 27.8
	広葉樹	△ 5.6	0.0	△ 5.6
在庫 動向	スギ・ヒノキ	△ 35.7	△ 35.7	△ 28.6
	マツ類	△ 37.5	△ 37.5	△ 37.5
	広葉樹	△ 18.8	△ 18.8	△ 18.8

・木材チップの生産、出荷及び在庫は、一部に横ばいがあるものの、総じて3ヵ月連続して減少。

## (2) 木材チップ出荷価格動向(自社サイロ下渡し)W

品目	28/6月	7月	8月
スギ・ヒノキ類	0.0	0.0	0.0
マツ類	0.0	0.0	0.0
広葉樹	0.0	0.0	0.0

・木材チップの出荷価格は、3ヵ月連続して横ばい。

## モニターからのコメント

## (木材チップ荷動き)

- ・製紙会社の定期修理で消費量がやや減少（東北）。
- ・広葉樹の入荷量増により出荷も増加傾向（東北）。
- ・製紙会社の機械整備で、当月上期は工場の稼働停止（中部）。
- ・6月製紙会社の定期修理で、受け入れ制限が発生（中部）。
- ・変動なし（中国）。
- ・安定供給で横ばい（高知）。
- ・出荷先の点検で、5月は減産、今月からフル稼働（九州）。

## (木材チップ価格)

- ・価格は変わらず（東北）。
- ・変化なし（中部）。
- ・変動なし（中国）。
- ・変動なし（高知）。
- ・しばらく変化なし（九州）。